

県名	熊本県	商工会名	芦北町商工会
----	-----	------	--------

事業者名	有限会社 御立岬
------	----------

題名	オリーブ茶、並びにオリーブ新漬けの開発
----	---------------------



新商品のオリーブ茶(粉末、レモンガラス)

氏名	原康之
----	-----

支援テーマ	
☐	創業
☐	経営革新・事業再構築
☐	地域資源活用・新連携
☐	農商工連携・6次産業
☒	販路拡大・販路支援
☐	海外展開・海外販路開拓
☐	事業再生・再チャレンジ
☐	事業承継
☐	ものづくり
☐	雇用・労務関係
☐	資金繰り
☐	持続化補助金
☐	DX・IT化支援
☐	価格転嫁
☐	事業継続計画(BCP)
☐	その他

※複数のテーマ選択可

支援前の課題

有限会社 御立岬は御立岬公園を管理しており、本格的なゴーカートから、お子さんも一緒に楽しめるローンスキーやスーパースライダーをはじめ、テニスコート、釣り場や海水浴場に加え、キャンプ場、マリンハウスやRVパーク等の宿泊施設、ほのかに潮香る優しいナトリウム泉の温泉センターなどの施設があります。

(課題)

芦北町が抱える様々な課題(農家の高齢化と後継者不足、耕作放棄地の増加と生産量・耕作面積の減少、あるいは町を訪れる観光客の減少等)の解決策の一つとして、オリーブの実証栽培を御立岬公園内で開始した。オリーブオイルの商品化を目指しオリーブの木の栽培を開始してから3年経過し、令和4年にはオリーブオイルを5kg絞ることができた。

しかし、安定してオイルがとれるようになるまでまだ数年かかるため、他の商品開発が急務であり、収益をあげていく必要がある。補助金があればと相談があり、芦北町中小企業者等持続化補助金の申請を勧めた。

商品開発の内容は、レモンガラスオリーブ茶、オリーブ茶粉末、オリーブの新漬けを計画している。

支援内容

芦北町中小企業者等持続化補助金の申請に記載すべき内容について説明した。

企業概要については、どのような商品やサービスを提供しているか。また売上や利益の状況を商品やサービスまたは部門ごとに書く。

顧客ニーズと市場の動向では、顧客が求めている商品・サービスがどのようなものか、また競合他社の存在や顧客の増減を左右する環境について書く。そのほか強み弱み、課題を踏まえ、今後の経営方針や目標は何か、方針・目標を達成するためにどのような課題解決プラン(時期と具体的行動)があるか。販路開拓の取組内容ごとに番号を振り分け、具体的に事業以外も含めて記載する。

効果については補助事業を通していくら売上が上がるのか番号ごとに詳しく記載する。全体のストーリーを考える、誰でも内容が理解できるように記載するなどのアドバイスを行った。

また、商品に同一の名称をつけてブランド化する登録商標について、専門家を交えて支援を行った。その後、補助金申請の採択を受け補助事業を開始。9月には、新発売のレモンガラスオリーブ茶、オリーブ茶粉末が店頭に並んだ。新漬け用実の収穫を10月に行い、11月にはオリーブ新漬けの販売を予定している。

将来的には、オリーブ農園の環境を活かし、それらを活用した体験プログラムを作り、御立岬公園を「観光農園」として既存観光資源(宿泊、遊具、温泉など)と組み合わせた観光プランを構築する計画である。

支援の経過

期間	支援内容
R7年4月	商品開発の補助金について相談
R7年5月	ヒアリング及び内容検討、申請
R7年6月	商標登録について専門家派遣
R7年6月	持続化補助金採択
R7年9月	オリーブ茶の新商品発売

支援内容の感想

支援を通じてオリーブの新開発商品が、芦北町の新たな特産品となった。また、御立岬公園の観光農園を起点とする滞在型プランの実施により、芦北町等への経済効果も期待できます。